

結果の概要

～平成26年4月分～

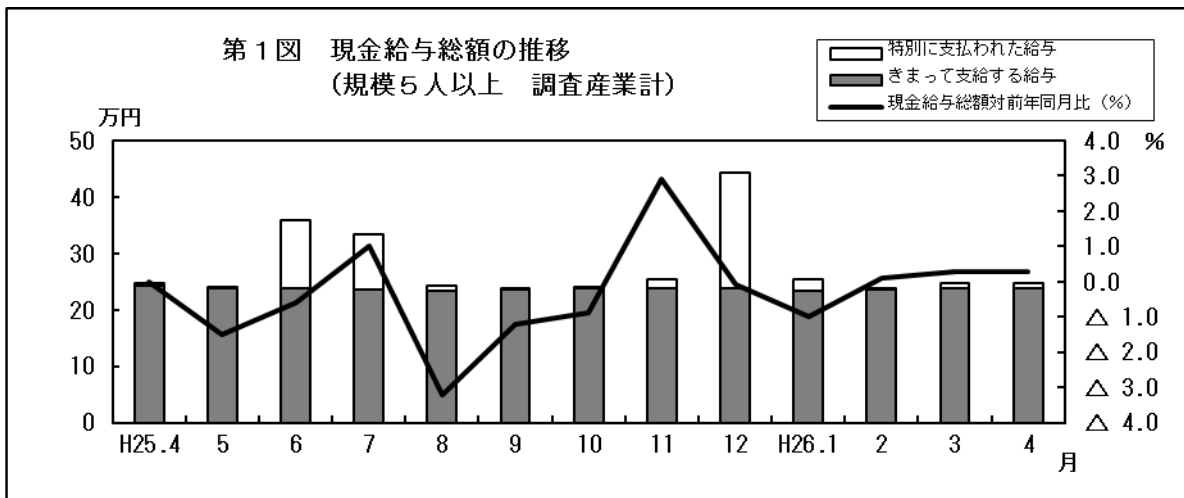
1 賃金の動き

4月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、247,177円となり、その指数は対前年同月比0.3%増（規模30人以上では、268,990円、0.5%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、238,185円、対前年同月比は1.8%減（規模30人以上では、257,715円、2.5%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、220,556円、対前年同月比は2.2%減（規模30人以上では、236,924円、2.7%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、343,071円（規模30人以上では、358,140円）、パートタイム労働者は、96,646円（規模30人以上では、109,367円）であった。（表20・21表）



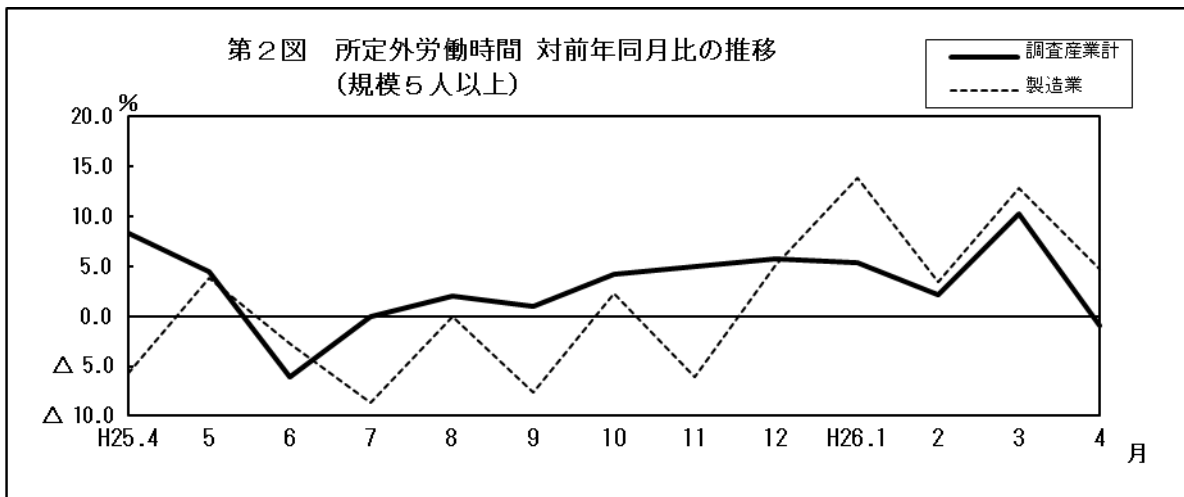
2 労働時間の動き

4月分の調査産業計の月間総実労働時間は、140.4時間、対前年同月比は2.5%減（規模30人以上では、143.7時間、3.4%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、10.4時間、対前年同月比は1.0%減（規模30人以上では、11.5時間、5.8%減）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、15.5時間、4.7%増（規模30人以上では、16.7時間、10.6%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、172.2時間（規模30人以上では、168.3時間）、パートタイム労働者は、90.2時間（規模30人以上では、99.7時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

4月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,036,327人、対前年同月比は0.3%増（規模30人以上では、1,171,273人、0.6%増）となった。製造業では388,858人、対前年同月比は1.0%減（規模30人以上では、275,597人、1.5%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,249,034人（規模30人以上では、754,332人）、パートタイム労働者数は、787,293人（規模30人以上では、416,941人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で38.7%（規模30人以上では、35.6%）であった。（第1・2・20・21表）

